

**(3) 就職委員会****① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

就職委員会は、学生の就職対策に関する事項について調査検討することを目的として、教授会に設置された専門委員会である。

**イ 組織の構成及び構成員等**

就職委員会は、各専攻・コース等から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）及び特命課長（就職支援担当）の計13人により構成されている。

**② 運営・活動の状況****ア 委員会等の開催状況**

令和5年度においては、委員会を3回（6月、12月、2月）開催した。

**イ 審議された主な事項**

主な審議事項は、①令和5年度就職研修（学部3年次研修を含む）実施計画、②令和6年度就職指導計画、③教員採用試験（大学推薦）の学内選考、④令和6年度就職支援行事等であった。

**ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等**

就職ガイダンス、教員採用試験対策講座（基礎編、実力養成編、直前講座、直前実技指導・模擬面接）、学内模擬試験等の就職支援プログラムについて、実施時期・内容等の改善を図りつつ、就職指導の年間計画に基づき計画的に実施した。

9月に就職研修（学部3年次生必修）を実施し、10～11月には指導教員と面談の上、進路希望調書のプレイスメントプラザへの提出を求めることにより、学生の就職に向けた意識を高め、就職試験準備の早期取組を促すとともに、プレイスメントプラザ及び就職支援プログラムの利用促進を図った。

**③ 優れた点及び今後の検討課題等**

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は、大きな成果をあげている。

文部科学省が令和5年12月25日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和5年3月卒業者の就職状況」において、本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）は84.8%で、国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）44大学・学部中、第2位であった。11年連続で80%以上の教員就職率を保ち、5位以内を維持しているのは、全国で唯一本学のみとなっている。